

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

社員が「楽しい会社、楽しい仕事」を実感できる働きやすい職場を作り、健康な社会作りに貢献し、選ばれ続ける企業を目指す

売上高

52,500百万円

営業利益

3,000百万円

経常利益

3,000百万円

当期純利益

2,300百万円

2 中長期の経営戦略

1. 既存ビジネスの効率化

ポートフォリオマネジメント部を新設し「選択と集中」を推進。S&OPプロセスを導入し生産効率を最適化。Meiji Seika ファルマとの新・コンソーシアム構想で品目統合を推進

3. 新規ビジネスへの参入

オーファンドラグ開発・受託分野を開拓。ノーベルファーマとの第1号案件として多系統萎縮症(MSA)治療薬「NPC-29」の開発基本契約を2025年5月に締結

2. 中国ビジネスの強化

15年かけて培った「日本品質・中国コスト」の強みを活かし、2027年5月期までに約11成分の中国国内向けジェネリック医薬品の受託製造を検討中

4. PBR1倍割れ対策

資本コストを含めたハードルレート基準を定め投資ガバナンスを高度化。株式消却300,000株、配当引き上げと株主優待制度の導入を推進

3 対処すべき課題

① 薬価・医療費抑制

- ・ 毎年薬価改定による単価下落に対応
- ・ 長期収載品の選定療養導入でジェネリック数量シェア80%達成
- ・ OTC類似薬保険給付見直しへの対応

② ジェネリック市場飽和

- ・ 数量置換率80%達成により成長鈍化が予測
- ・ 新領域（オーファンドラグ、海外、医療デバイス）への参入必須
- ・ 生物学的同等性試験の難易度・費用上昇

③ 経営環境の変動

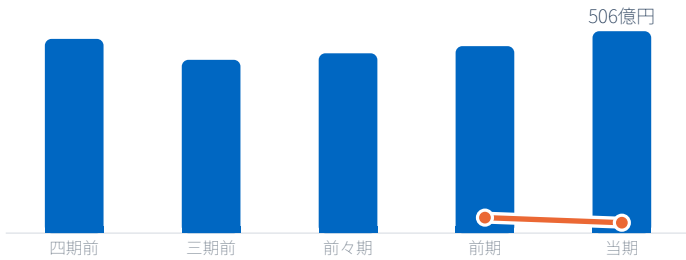
- ・ 円安による原材料費増加、エネルギー価格高騰
- ・ トランプ関税による米ドル安、資金調達コスト上昇
- ・ 人財確保競争激化に伴う人件費増加

面接で使えるポイント

- ・ ジェネリック市場の数量置換率80%到達を踏まえ、オーファンドラグ開発など新領域への挑戦を推進している点
- ・ 日本と中国の両国で「一貫製造」体制を構築し、FDA査察継続クリアなど業界トップクラスの品質管理体制を確保している点
- ・ DTP2027の5つの柱（効率化・中国強化・新規参入・PBR対策・人的投資）で持続的成長と企業価値向上を目指している点

証券コード 4577

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
506億円

営業利益率
5.2%

財務健康度
53点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 46.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
487万円

医薬品内 80位/80社

平均年齢
39.0歳

医薬品内 75位/80社

平均勤続
10.8年

医薬品内 35位/80社

女性管理職
10.0%

医薬品内 34位/41社

男性育休
55.5%

医薬品内 31位/35社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

